

第3回 グループホームこころ尾道駅前 運営推進会議

2015. 1. 19 (月) 14:00~より
こころ尾道駅前ビル 8階にて

1. 理事長挨拶

今年初めての運営推進会議で皆さんに集まって頂き、有り難く思います。新年を無事に迎えることができて、板前さんにもお正月のお節料理を用意してもらいました。正月らしい料理を出すことで、利用者様も喜んでくださったようです。

何を食べたかなどは忘れてしまうでしょうが、その瞬間の「美味しかった」「楽しかった」という気持ちが残っているものです。その瞬間のことが利用者にとって安心できる、喜んでもらえるものになれば施設としては良いと思います。

2. 運営推進会議構成員各位の自己紹介

ご家族代表	2人
地域住民代表	2人
有識者	1人
尾道市地域包括支援センター職員	1人
その他(理事長、理事、管理者、職員)	6人

3. 利用状況等の報告

①サービス利用者の状況 1月19日現在 入居者9名(男性2名 女性7名)

介護度別利用状況

要支援2	0名	要介護3	4名
要介護1	0名	要介護4	2名
要介護2	1名	要介護5	2名

現在の利用者状況を報告させていただきます。

11月中に1名入院されその後12月10日にて退居となりました。その後、男性の方が1名新規入居され現在9名のご利用となっております。

要介護度の内訳は、新規入居の方は要介護5、他12月よりに認定更新にて要介護1の方が要介護3へ変更となり上記表の内訳とおりです。

現状ではインフルエンザの罹患者もなく、比較的健康状態は落ち着いています。

引き続き手洗い・うがいなど予防対策に努めていき、スタッフも感染源にならないよう各自体調管理に努めています。

②サービス利用状況報告等 (サービス内容・ご利用者の様子)

●ご利用者の生活の様子や行事等について

○室内行事について

・クリスマス会 12月24日(水)午後より

・お正月準備(年賀状作り:ご本人よりご家族あて・お正月飾りつけ・箸入れ)

・お正月料理(1月1日~1月3日)

年末年始は色々行事などがありました。12月24日はクリスマス会を行い、皆さんでケーキ作りを行いました。一人一つミニサイズのスポンジケーキにそれぞれ好きなセンスでクリスマスの飾りつけを行い美味しいケーキを全員で味わいました。

年末はお正月に向けて、玄関にスタッフと一緒に飾りつけを行い、一緒にお正月三が日用の箸入れなどを一緒に作りました。

また、利用者の方全員ご家族へ年賀状を出そう!!

という事で、年賀状を利用者の方お一人と一緒に郵便局まで買いに行き、それぞれご家族の方へご自分で筆ペンを使いあいさつ文を書いてみる事にしました。

年賀状というのはすごい力があり、今まで字を書くと言う事を、色々な声掛けをしても難しかった方も年賀状になると周りの4、5人の人が書いているのを目にすると、筆ペンを使ってとても力強い字で書かれ、その勢いで表の住所まで上手に書く事ができました。

他の数名の方も上手に筆ペンを使って挨拶分を書いたり、書く事が難しい方は手製の芋版を押したりなどとても心地良い時間をスタッフ利用者の方共に過ごす事が出来ました。

年が明け、1日のお雑煮を食べ新年の朝を迎えました。昼食は写真にあるように、お正月料理と年末に作

った箸置きをそれぞれのお膳に分け、三が日お正月料理を美味しく味わう事ができました。初詣にも4名の方でお出かけしました。

年末からお正月に向け、その時々の一瞬の時間ですが、年末…今日は大晦日…お正月がきた…と、一瞬一瞬その時らしい時間を味わって頂ける事が出来たのではないかと考えています。

○外出行事について

・12月年末 年賀状購入の為、郵便局へ(1名)

先の伝達に行いましたが、利用者の方がご家族などに向けて各年賀状の購入を、利用者の方1名スタッフ付添いのもと、本局の郵便局まで購入に出掛けました。

・1月1日(土) 初詣 4名外出

近くの駅前の神社まで、スタッフと共に午後よりお出掛けをしました。寒さもあり、皆さんコートなどをはおり厚着をして出掛けました。初詣との事で、それぞれ願いを込めて神社の前で手を合わせておられました。

・その他買い物など

手作りおやつや夕食の材料など、スタッフと共にお出掛けをしました。

4. 意見交換

・各参加者より

□包括： 県内、市内よりインフルエンザに注意との伝達があります。こちらの事業所では徹底して予防されているようですので今後も引き続きお願いします。1月1日から出かけられているのは驚いています。その時の風土の行事に参加され、企画されているのは地域密着型ならではの取り組みだと思います。その取り組みを拝見して、今後、包括からも対象者のケースをお願いする事があると思うのでよろしくお願い致します。

□民生委員： 民生委員の立場から、担当エリアの見守り・パイプが主な役だと思っています。いろいろなお年寄りがいるので、事業所さんが受け入れやすい環境作りをこころがけてほしいです。ここはベストな位置ですが、そういった受け入れができるよう考慮して行ってほしいと思います。

□有識者： 利用者の年齢層を次回から知らせてほしい。ご自身が高齢で受け入れる年齢だが、これからはまだまだ元気な方も対象になることがあるのではと思います。本当のサービスは何が大切なのかと感じています。要支援は介護の世界ではない、行政がどのようなプログラムを立てるかわからないが、今後はそういった人たちの何か引き出せられるものを求められるのではないかと考えています。70代など若い方対象、夫婦で年金生活の場合、金銭の余裕がない方が介護保険以外のサービスをどう積み上げて行けばよいかと心配しています。先駆的にここはされているが、スタッフの方のご苦労あつての事と思います。地域で頑張っていた方が、施設に入居されている現状があり正直ショックな気持ちもあります。その人にとって、施設の生活の中でうまく適応していかないと考える気持ちもありますが、いろいろと考えさせられることがあります。地域で地域の人を支えてきた方を、今度は私達が支える立場となり、どんな形でその人たちに接したらよいかと考えさせられます。

上記意見についての返答

理事長： 若年性認知症が増えています。まだ認知症の進行も途中の段階でプライドもしっかりとあり、年寄と一緒にしないでほしいという気持ちもあります。いろいろなニーズには対応していきたいと思いますが、制度・許認可の関係で難しい面はあります。こころスタッフと自信をもってニーズに対応していきたいと考えています。ご要望の介護予防は、これからの市町事業になっていきますが市町も対応に色々検討をしてほしいと思います。

地域代表： 観光だけではなく、特徴を活かして高齢化でも尾道に住みたいと思える街にしないとイケないと思います。

□地域代表： 商店街より、行事にはスタッフ入所者皆さん参加してもらい感謝している。2月第3日曜に長江広場(旧消防署)で高野から雪を運んで雪まつりを行います。好評で活性化委員がほぼ定番行事にしようかとしています。寒い時期ですが、天気や調子が良ければぜひきて頂ければと思います。今年はみなと祭り、5月第一の土日になります。1週間遅らせて実施される予定です。また決定事項を報告します。一番街行事はみなと祭りまでは予定なしです。

□家族代表： 他の病院に居た時は寝たきり状態で生活をしていました。その後グループホームの生活を始め、家族の顔は忘れていたが、体の方がよくなっているように感じます。家族をみて「誰？」と名前が出ないような状態ですが、スタッフさんの介助でトイレに連れて行ってもらう排泄ができるなど家族も喜んでます。身体の状態がとてよくなったので安心しています。

・理事、事務長より

○理事：立地条件がすばらしく、ちょっとした行事をこころ尾道駅前クリニックの目の前でできるという良さです。いろんな行事の情報をいただけて助かっています。作業所（夢空間こころぴあ・就労継続支援B）も参加できるよう、情報がいただけるので事業計画に参加予定を組もうと思います。尾道はお祭り、大小のイベント多いので積極的に参加できるようにしたいとおもいます。法人全体クリニックのことですが、看護師を数名増員したので、訪問看護のニーズにも連携し対応していきたい。若年性の方達も高齢者向けのサービスは難しいと思いますが、市に相談したら、特別に就労継続の利用を取り組んだ方もいる。継続は難しかったが、今後も課題と思います。早期診断、発見し、どうフォローしていくかは課題であり、知恵があればどんどん取り入れていきたいと思っています。

5. 次回運営推進会議日程

定期予定日 第2月曜日

平成27年 3月 9日（月） 時間：14時00分より開催予定。

会議終了後、避難訓練（避難経路・避難方法についての意見等）を実際に行う予定です。

ご参加お願い致します。